

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	下水道長寿命化対策事業			事業番号	32-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	土木部下水道担当	石塚俊彦	下水道整備課	芦川友広	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	2	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	
予算事業名	第2号公共下水道管渠整備事業費		第3号公共下水道管渠整備事業費		
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成29年度 ~		終了年度	平成33年度
関連法令等					
国・県の計画等	長寿命化支援制度			計画期間	長寿命化計画 平成29年度から平成33年度(5年間)
関連個別計画	終末処理場事業費(長寿命化、改築・更新)			計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	伊勢原市の公共下水道事業は昭和46年度から実施、管路施設等の老朽化による管路の破断などによる機能低下や、道路陥没などが発生する可能性があり、今後は、ライフサイクルコスト最小化の観点で踏まえ、耐震化等の機能向上も考慮した、長寿命化対策を含めた計画的な改築・更新を行う必要がある。				
目的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市の公共下水道事業は昭和46年度から実施しており、同年代の管路施設等は老朽化が著しく、管路の破断などによる機能低下や、道路陥没などを引き起こす可能性があるため、事故の未然防止およびライフサイクルコスト最小化を図ることを目的に長寿命化(管更生)及び改築更新に取り組む。				
主な対象 (誰・何を対象に)	「長寿命化対策」に係る管路施設(参考:管渠類およびマンホール躯体は供用20年以上、車道部マンホール铸铁蓋は供用7年以上を経過した施設)				
事業内容 (手段、手法など)	・下水道管路施設の調査等を基に策定した下水道長寿命化計画について、神奈川県と協議調整を進め、下水道管路施設の改築及び修繕工事を進めます。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	長寿命化計画の策定	管路調査、計画策定、関係機関協議	実施設計、改築及び修繕工事		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	長寿命化実施済率	17%	17%	20%	



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	関係機関との協議を進め、平成29年度から社会資本整備総合交付金を活用した改築及び修繕工事に向け、調整を図り進めて行く。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	長寿命化計画の策定	未執行	
実施した取組の内容	下水道長寿命化対策事業は、平成28年4月1日より下水道ストックマネジメント計画の策定が義務づけられ、その計画書の策定に必要な下水道施設の資産について調査を行った。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	長寿命化実施済率	17%	17%

年度		28年度 実績				29年度 実績			
内 訳	事業費合計 (a)	0	千円				千円		
	国県支出金 ①	0	千円				千円		
	地方債 ②	0	千円				千円		
	その他特財 ③	0	千円				千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	0	千円				0	千円	
国県支出金の内容									
コ ス ト	その他 特財の 内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他							
人 件 費	正規職員	0	人	0	千円		人		千円
	その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	0	人	0	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)		0		0	千円				千円
単 位 当 た り コ ス ト	対 象 数	定義	改築計画延長		単位		単位		
		対象数	0	m					
	総事業費 / 対象数	0	円						

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input checked="" type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	C	左記判断理由	年度当初、平成28年4月1日付け、国土交通省下水道事業課長からの通知により、下水道施設の改築の交付対象は「下水道ストックマネジメント計画」の策定が義務化されたため、執行を延期したことによる。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	各自治体によって、下水道施設の整備状況が異なることから、一律に比較できない。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	管路施設等の老朽化による管路の破断などによる機能低下や、道路陥没などが発生する可能性があり、耐震化等の機能向上も考慮し、計画的に事業を進める必要がある。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	現在、企業会計への移行に伴う資産調査を行っているため、その調査が「下水道ストックマネジメント計画」の策定に活用できるよう対応を行っている。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	下水道長寿命化対策事業のための「下水道ストックマネジメント計画」の策定については、国の動向を注視し、国の交付金を活用できるよう努める必要がある。
次年度取組方針		平成31年度からの本格的な事業着手に伴い、「下水道ストックマネジメント実施方針」の策定を行う。		
所管部長による総評		全国的に老朽化した管渠に起因する道路陥没や公共用水域への汚水の流出事故が見られる。当市についても40年以上経過した管渠が存在し、老朽化した管渠に起因する事故のリスクは高まっている。このようなことから平成29年度から2カ年で「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、同計画に基づき平成31年度から社会資本整備総合交付金を活用した管渠の長寿命化対策を計画的に実施する。		